

歩く力を、 未来の技術 で支える。

パーキンソン病などによる歩行障害は、日常生活にさまざまな制限を及ぼし、生活の質を低下させます。私たちは、センサーデバイス（スマートシューズ）による歩行状態のリアルタイム計測と、AI による解析・予測を組み合わせた新しい支援のかたちを提案しています。

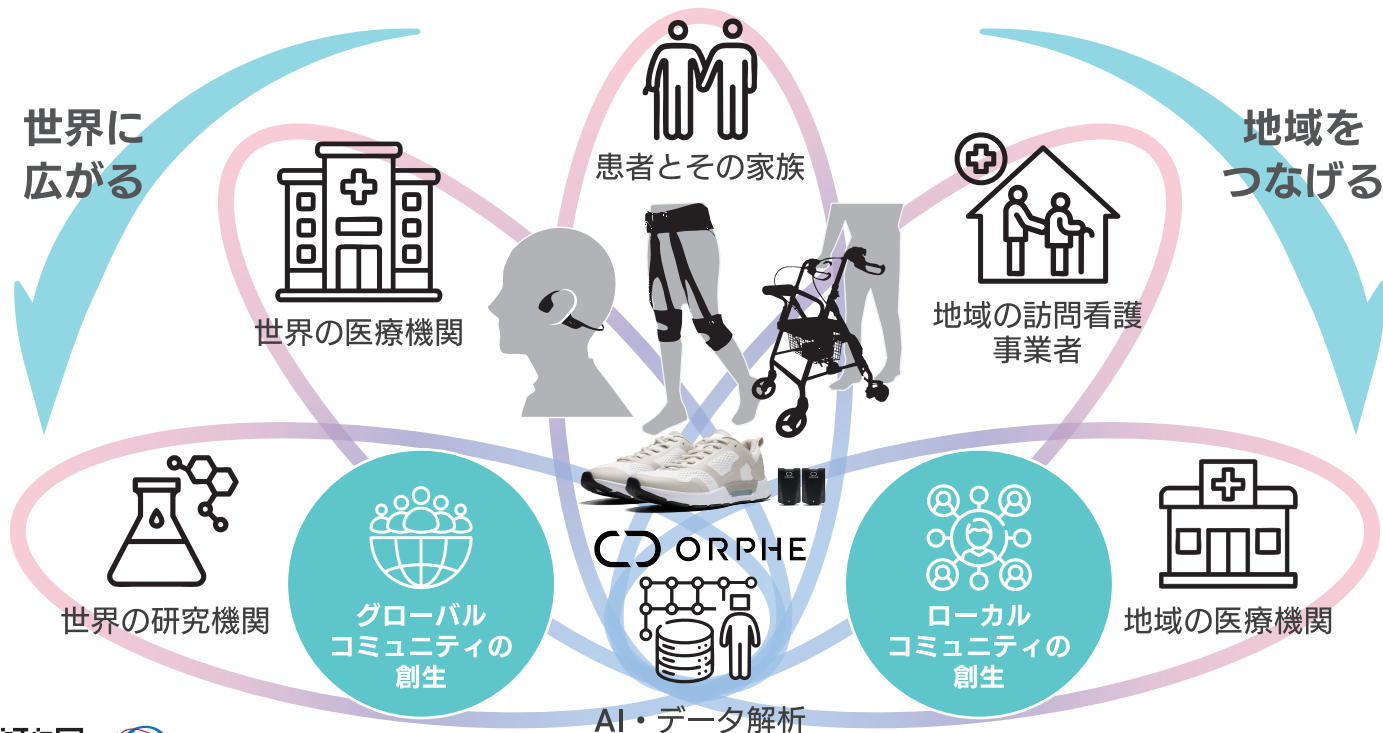


つながり・広がり・深化する歩行支援プラットフォーム

リアルな歩行データ
をもとに、生活中的
支援と改善を実現

一人ひとりの症状に
合わせた、最適な
歩行支援を実現

患者・家族・医療従事者・
研究者のシームレスな
連携を実現



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
<https://sip3.nedo.go.jp/virtual/theme/index.html>

参画機関：国立研究開発法人 産業技術総合研究所／国立大学法人 九州工業大学／学校法人慶應義塾 慶應義塾大学／学校法人巨樹の会 令和健康科学大学／株式会社 ORPHE

※本研究（の一部）は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の「SIP/ パーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」（研究推進法人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）によって実施されました。※この技術は現在、研究開発中のものであり、医療機器ではありません。※実証実験や技術検証を通じて、将来的な実用化を目指しています。

お問い合わせ窓口：

産業技術総合研究所（産総研）

担当者：多田 メールアドレス：m.tada@aist.go.jp